

秋田内陸縦貫鉄道 安全報告書



2019 年度(令和元年度)版

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における鉄道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

皆様でご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せくだされば幸いです。

1 ご利用者および地域の皆さまへ

当社の鉄道事業に対し、日頃のご利用とご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全安定輸送を掲げ、法令の遵守と安全安定輸送に努め、おかげさまで大きな事故も無く2019年4月1日で全線開業から30周年を迎えております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見をお願い致します。

秋田内陸縦貫鉄道(株) 代表取締役社長 吉田 裕幸

2 当社の経営理念

A N J T W a y (ないりくせんうえい)

私たちは安全安定輸送と価値あるサービスの提供により、人と人、地域の今と未来をつなぎ、心豊かで笑顔あふれる社会の実現に貢献します。

3 基本方針と安全目標

(1)基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知・徹底し、実行しております。

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義あるときは安全と思われる取扱いをします。
- ⑤事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2)安全目標

輸送安全目標は、お客さまの死傷事故ゼロ、社員の死亡事故ゼロです。

踏切障害事故等もゼロを目指して、引続き安全輸送の確保と安心“乗車”の確立を目標に社員一同目標達成に向け全力で取り組みます。

4 2019年度事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 鉄道運転事故等……ありませんでした。
- (2) インシデント(事故の兆候)……ありませんでした。
- (3) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)……ありませんでした。
- (4) 踏切傷害事故……6/1に1件発生し、残念ながら1名の方がお亡くなりになりました。
- (5) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)
2019年度は、輸送障害が16件発生いたしました。内訳は下記の通りです。
自然災害(大雨・大雪・倒木・落葉等)……14件
その他(動物等)……2件
- (6) 行政指導等
ありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取組み

(1)安全のレベルアップ

当社では、年度毎に安全計画を定めて取り組んでいます。

事故または事故のおそれがある事象については、徹底した原因究明に努めており、早期復旧と再発防止に取り組んでおります。

業務にあたっては、「基本動作・基本ルール」遵守の徹底を図りました。

(2)安全風土の構築

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう、テーマを決めて安全に対する取組みについて討議し、全社員に周知し実行しております。会社及び社員個々のリスク感度(危機管理力)をより一層高め、事故及び事故の“芽”の正しい把握と事前に摘み取ることのできる組織を目指した取組みや「ヒヤリハット」事象を毎月の安全会議において各職場から発表し、全社員で情報を共有し、無事故、無傷害に取り組みました。

(3)変化への的確な対応

訓練会を活用し、異常時対応能力の向上を図りました。

2019年度も、毎月の「乗務員指導訓練」において様々な事例を参考にして指導訓練を実施したほか、駅係員等の運転取扱いについて各現場で訓練を実施しました。

また、今期も地域の公共交通が連携して安全に取り組むことを目的として、東北鉄道協会の技術力共有化事業でIGRいわて銀河鉄道様の実車運転訓練会に参加し他社の訓練を参考にしたほか、毎年実施しているJR各地区センター主催の踏切事故ゼロキャンペーンに参加し、上中岱踏切(北秋田市)と菅沢踏切(仙北市)において、各所在警察署及び交通安全協会の皆様と連携しリーフレットを配布して、ドライバーの皆様への踏切事故防止意識の高揚を図りました。

(4)安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、収入の多くを安全関連施設への投資や施設・車両の修繕費にあてています。

2019年度は修繕費約160百万円投資しております。

このほか、秋田県の秋田犬の里魅力アップ促進事業費補助金を受けて、AN8905号車の観光列車改修(修繕を含む)を実施し、新観光列車笑 EMIとして今までにない魅力ある車両に生まれ変わりました。このほか国と県からの鉄道施設総合安全対策工事業費補助金を受けて、踏切保安設備の更新1箇所、レールの重軌条化819.8m、木製マクラギ交換94本、木製マクラギのPCマクラギへの交換500本、トンネル補修1箇所、踏切道補修1箇所、通信ケーブル更新7,870m、信号ケーブル更新1,351m、全線の軌道整備、熱風融雪装置の改修、旅客車両の全般検査(2両)、重要部検査(1両)、車輪車軸の取替(2両)、ワンマン装置改良(2両)、トイレ洋式化(4両)、車両修繕(3両)、保守用車(2両)の検査修繕などを実施しました。

また、旅行環境整備事業費補助金を受けタブレット端末5台を購入して駅などの現場で活用しております。



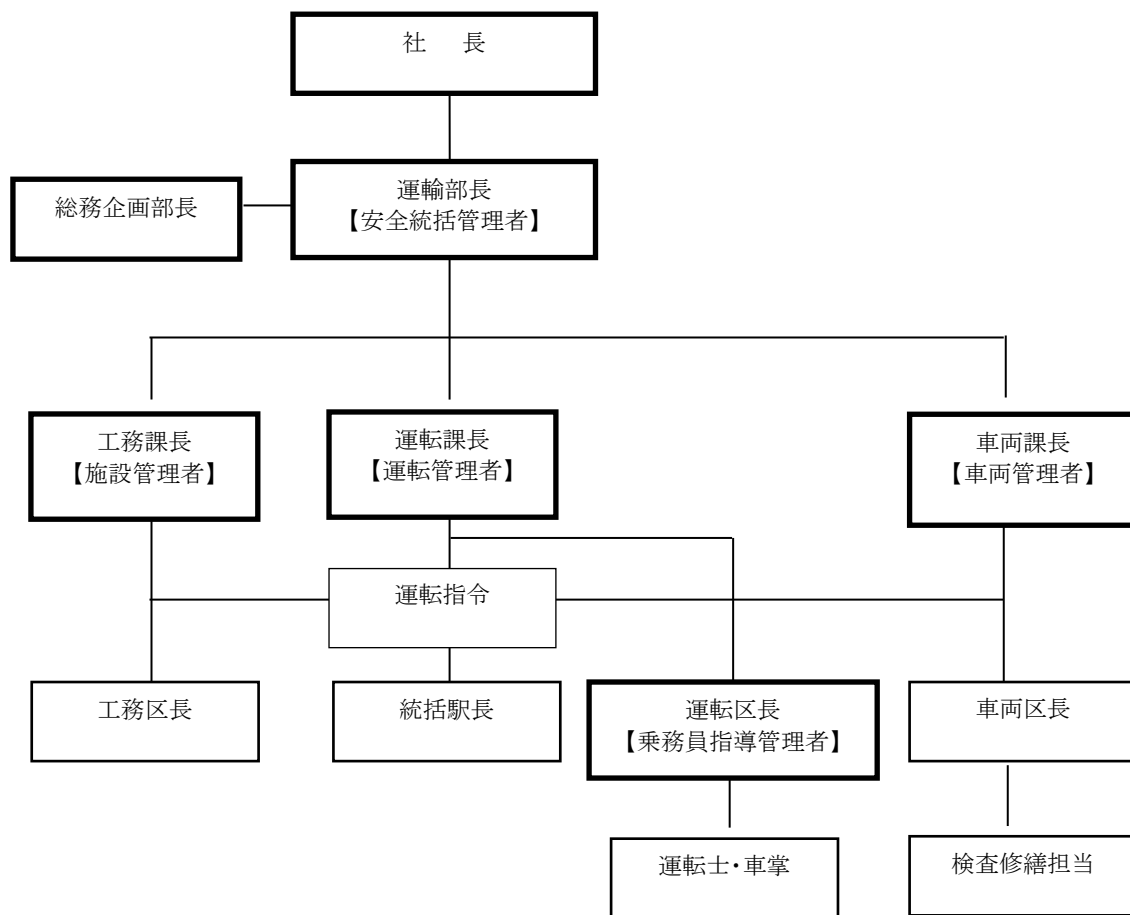
踏切事故ゼロキャンペーン



8905号新観光列車笑 EMI



6 当社の安全管理体制



役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運転区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
工務課長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両課長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務企画部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

7 地域の皆さまとの連携

- (1) 2019年度は、更に沿線の皆様への情報を提供するため、社員全員で担当地域を定めエリア営業を展開したほか、全線開業から続いている100キロチャレンジマラソンも開催され全国から多数のランナーが参加し、多くの方にご利用いただきました。また、地域のにぎわい創出のためのイベント等に地域の皆さんと連携して取り組みました。警察・消防・バス会社、建設会社等々が参加した『秋田内陸線のりものまつり』も多数のお客様にご来場いただきました。
- (2) 地域活性化事業などによる駅周辺の環境改善や無人駅清掃などの地域ボランティア活動も活発に行われ、沿線の草刈除草など環境整備も更に改善されました。また、各駅では地域の皆様や施設の方々の花の植栽やプランターの設置による構内の魅力アップを実施して頂き、車窓からお客様の目を楽ませています。駅環境の美化運動へのご協力、誠にありがとうございます。
- (3) 沿線の北秋田の素材を活用した地域PRを通じて活性化に寄与すべく設立された団体『やってみよう！北秋田』に参画し、事務局を担いながら今年度は「マタギ」の文化を広めるべく地域の皆様とともに活動しました。
- (3) 沿線地域の一大イベントとなっている、沿線の農家の皆さん、地域振興局、市役所、JA、秋田大学や沿線の小学校、建設業協会、仙北市小松・東前郷環境保全協議会など多くの皆さんと連携して沿線地域5か所において実施された田んぼアートは、今年も内陸線の車窓からの眺めが特等席でご乗車のお客様の目を楽しませていただくとともに、沿線地域の観光素材として定着してきております。
また、今年度も青森田舎館の田んぼアート駅もある弘南鉄道様とのコラボを実施しました。
たくさんの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。
- (4) 各種イベント列車でも地域の皆様からご協力いただいております。人気企画となっている『ごっつお玉手箱列車』ではグリーンツーリズム西木研究会の皆様、そして今期から運行開始した『ふれあいライブトレイン』では仙北市のおやま囃子青年部の皆様や北秋田地域の多数のグループの皆様に民謡、歌謡曲などの演奏等をご披露頂くなど、多くの皆様に協力を頂いているほか、おひな様列車の吊るし雛作成や車内のおひなさまの絵の車内飾りなど、様々な場面で多くの皆様からご協力いただき、ご乗車のお客様にお喜び頂きました。ありがとうございました。



マタギのPR活動



100キロチャレンジマラソン



田んぼアート

8 ご連絡

安全報告書へのご感想、当社の安全やサービスの取組みに対するご意見をお寄せください。

秋田内陸縦貫鉄道株式会社 運輸部	
電話 0186-82-3231	FAX 0186-82-3793
E-mail n-info20@akita-nairiku.com	
■月～金 8:30～17:00	